

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年10月30日
【四半期会計期間】	第16期第1四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	グリー株式会社
【英訳名】	GREE, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 田中 良和
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号
【電話番号】	03-5770-9500
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員最高財務責任者 大矢 俊樹
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号
【電話番号】	03-5770-9500
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員最高財務責任者 大矢 俊樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期連結 累計期間	第16期 第1四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日	自2018年7月1日 至2019年6月30日
売上高 (百万円)	18,157	15,799	70,936
経常利益 (百万円)	2,166	1,073	5,725
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	2,083	985	3,485
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,041	3,269	3,311
純資産額 (百万円)	112,019	111,761	110,669
総資産額 (百万円)	124,698	123,692	122,490
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	8.84	4.28	14.81
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	8.82	4.27	14.77
自己資本比率 (%)	89.5	89.9	89.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定における期中平均株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を四半期連結貸借対照表において自己株式として表示していることから、当該株式の数を控除しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、主要な関係会社における異動は以下の通りであります。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ORATTAIはファンブックス株式会社に吸収合併されたため、連結の範囲から除いております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1)業績の状況

我が国における個人のスマートフォン保有率は前年比3.8ポイント増の64.7%（出典：総務省「平成30年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、2018年の国内ゲームアプリ市場規模も前年比10.2%増の1兆1,660億円（出典：株式会社Gzブレイン マーケティングセクション「ファミ通ゲーム白書 2019」）と成長しております。

このような環境のもと、当社グループは主力とするゲーム・エンタメ領域において、既存のスマートフォン向けアプリゲーム（以下、「アプリゲーム」）の長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むと同時に、新規アプリゲームの開発を進めてまいりました。

また、当第1四半期連結累計期間において、当社保有株式の一部売却により投資有価証券売却益を492百万円計上致しました。

以上の取り組みにより、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高15,799百万円（前年同期比13.0%減）、営業利益1,177百万円（同27.2%減）、経常利益1,073百万円（同50.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益985百万円（同52.7%減）となりました。

#### (2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は123,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,202百万円増加致しました。流動資産は94,704百万円（前連結会計年度末比186百万円増）となりました。主な増加要因は「現金及び預金」が424百万円増加したことによるものであります。固定資産は28,988百万円（同1,015百万円増）となりました。主な増加要因は「投資有価証券」が1,724百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては11,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加致しました。流動負債は11,024百万円（同139百万円増）となりました。主な増加要因は「未払法人税等」が325百万円増加したことによるものであります。固定負債は907百万円（同28百万円減）となりました。主な減少要因は「その他」が28百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、111,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,091百万円増加致しました。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」が2,286百万円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末89.9%に対し、当第1四半期連結会計期間末は89.9%と横ばいで推移致しました。また、支払い能力を示す流動比率は、前連結会計年度末868.3%に対し、当第1四半期連結会計期間末は859.0%と9.3ポイント減少しております。

#### (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は173百万円であります。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	640,000,000
計	640,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年10月30日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	242,231,200	242,231,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	242,231,200	242,231,200	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年10月1日からこの四半期報告書提出日の新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	242,231,200	-	2,362	-	2,360

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,582,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 237,631,000	2,376,310	-
単元未満株式	普通株式 17,600	-	-
発行済株式総数	242,231,200	-	-
総株主の議決権	-	2,376,310	-

(注) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与E S O P信託口)が所有する当社株式7,433,483株は、「完全議決権株式(その他)」の欄に7,433,400株(議決権の数74,334個)及び「単元未満株式」の欄に83株を含めて記載しております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
グリー株式会社	東京都港区六本木六丁目10番1号	4,582,600	-	4,582,600	1.89
計	-	4,582,600	-	4,582,600	1.89

(注) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与E S O P信託口)が所有する当社株式7,433,483株は、上記自己株式を含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	84,472	84,897
受取手形及び売掛金	7,160	6,742
未収入金	1,176	1,137
その他	1,718	1,936
貸倒引当金	10	9
流動資産合計	94,517	94,704
固定資産		
有形固定資産	2,417	2,329
無形固定資産		
のれん	246	226
その他	147	141
無形固定資産合計	393	368
投資その他の資産		
投資有価証券	17,652	19,377
繰延税金資産	3,864	2,855
その他	3,860	4,274
貸倒引当金	215	215
投資その他の資産合計	25,161	26,290
固定資産合計	27,973	28,988
資産合計	122,490	123,692
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	272	597
賞与引当金	567	289
未払金	6,915	6,716
その他	3,130	3,420
流動負債合計	10,885	11,024
固定負債		
その他	936	907
固定負債合計	936	907
負債合計	11,821	11,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,362	2,362
資本剰余金	2,360	2,360
利益剰余金	113,730	112,414
自己株式	8,296	8,201
株主資本合計	110,156	108,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	2,337
為替換算調整勘定	51	52
その他の包括利益累計額合計	0	2,285
新株予約権	456	486
非支配株主持分	55	54
純資産合計	110,669	111,761
負債純資産合計	122,490	123,692



## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

( 単位 : 百万円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	18,157	15,799
売上原価	7,862	7,107
売上総利益	10,294	8,692
販売費及び一般管理費	8,678	7,515
営業利益	1,616	1,177
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	1	0
為替差益	223	2
投資事業組合運用益	284	-
その他	39	6
営業外収益合計	550	9
営業外費用		
投資事業組合運用損	-	113
その他	0	0
営業外費用合計	0	113
経常利益	2,166	1,073
特別利益		
投資有価証券売却益	-	492
関係会社株式売却益	1,012	-
その他	-	33
特別利益合計	1,012	526
特別損失		
固定資産除却損	54	15
投資有価証券評価損	-	9
特別損失合計	54	25
税金等調整前四半期純利益	3,124	1,573
法人税等	1,040	589
四半期純利益	2,083	984
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	-	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,083	985

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,083	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	2,280
為替換算調整勘定	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	39	5
その他の包括利益合計	42	2,285
四半期包括利益	2,041	3,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,041	3,271
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ORATTAIはファンブックス株式会社に吸収合併されたため、連結の範囲から除いております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。

これらの契約に基づく借入未実行残高は以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
当座貸越極度額	7,000百万円	7,000百万円
借入実行残高	- 百万円	- 百万円
差引額	7,000百万円	7,000百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	162百万円	93百万円
のれんの償却額	72百万円	20百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月26日 定時株主総会	普通株式	3,299	14	2018年 6月30日	2018年 9月27日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式への配当金26百万円を含めておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月25日 定時株主総会	普通株式	2,302	10	2019年 6月30日	2019年 9月26日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式への配当金74百万円を含めておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円84銭	4円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	2,083	985
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	2,083	985
普通株式の期中平均株式数(千株)	235,723	230,240
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	8円82銭	4円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	506	701
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注)「普通株式の期中平均株式数」については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を控除し算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年10月30日

グリー株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 善方 正義 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田辺 敦子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグリー株式会社の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グリー株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。